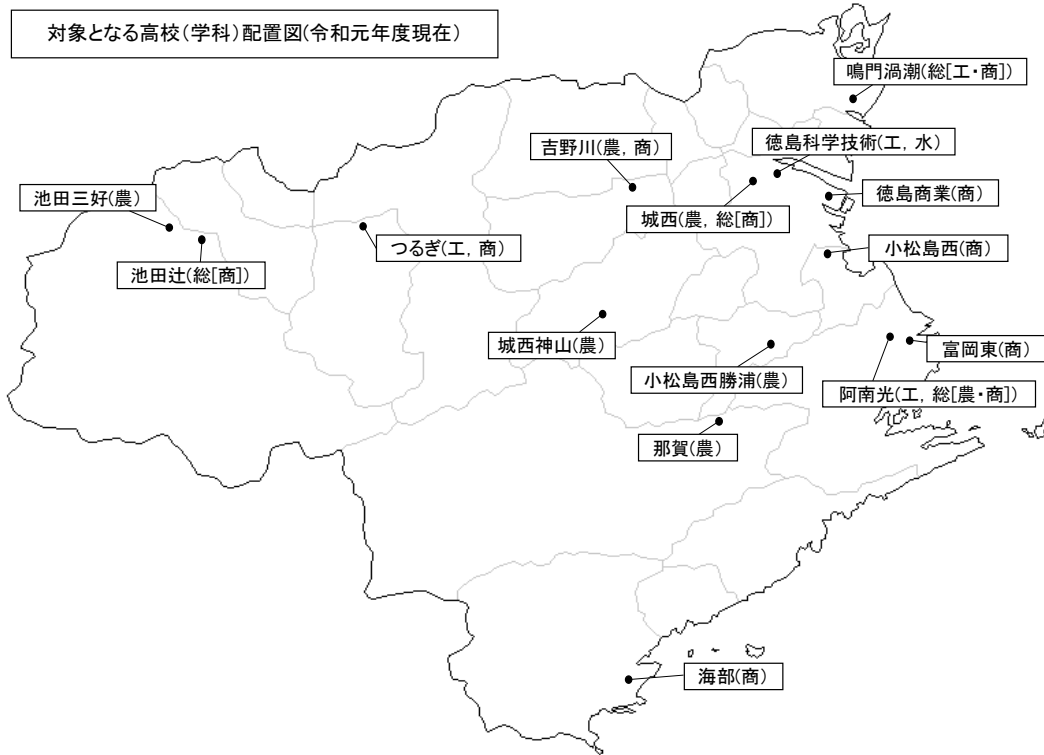


# 第1章 本県農工商教育の現状

## 1 対象となる高校の設置状況

本県において、農林水産業に関する教育を行っているのは、農業科6校、水産科1校、総合学科1校の計8校、工業に関する教育を行っているのは、工業科3校、総合学科1校の計4校、商業に関する教育を行っているのは、商業科6校、総合学科4校の計10校である。



### 農林水産業に関する教育

大学科名	学校名	小学科名	令和2年度募集定員(名)
農業科	城西高校	生産技術科	20
		植物活用科	25
		食品科学科	25
		アグリビジネス科	25
	城西高校神山校	地域創生類	30
	小松島西高校勝浦校	応用生産科	20
		園芸福祉科	20
	那賀高校	森林クリエイト科	20
	吉野川高校	農業科学科	20
		生物活用科	20
	池田高校三好校	食農科学科	20
		環境資源科	15
計			260
水産科	徳島科学技術高校	海洋科学類	10
		海洋技術類	20
計			30
総合学科	阿南光高校	産業創造科	85

## 工業に関する教育

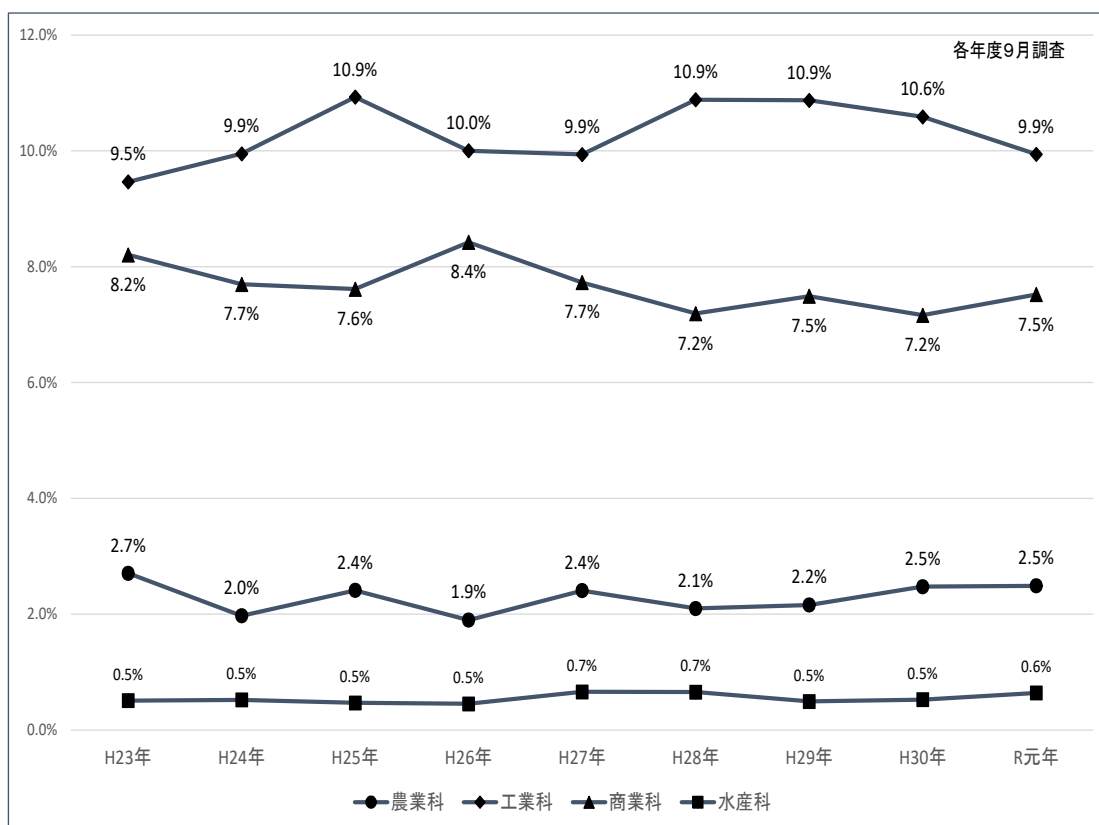
大学科名	学校名	小学科名	令和2年度募集定員(名)	
工業科	徳島科学技術高校 (全日制)	総合科学類	60	
		機械技術類	70	
	(定時制)	電気技術類	60	
		建設技術類	80	
		機械類	40	
		工業技術類	40	
		阿南光高校	機械ロボットシステム科	35
			電気情報システム科	30
	都市環境システム科		25	
	つるぎ高校	電気科	50	
機械科		50		
建設科		25		
計 (全日制)			485	
(定時制)			80	
総合学科	鳴門渦潮高校	総合学科	140	

## 商業に関する教育

大学科名	学校名	小学科名	令和2年度募集定員(名)
商業科	徳島商業高校	情報処理科	60
		会計情報科	55
		商業科	155
	小松島西高校	商業科	60
	富岡東高校	商業科	35
	海部高校	情報ビジネス科	20
	吉野川高校	会計ビジネス科	25
		情報ビジネス科	25
		食ビジネス科	30
	つるぎ高校	商業科	25
地域ビジネス科		25	
計			515
総合学科	城西高校	総合学科	85
	阿南光高校	産業創造科	85
	鳴門渦潮高校	総合学科	140
	池田高校辻校	総合学科	55

## 2 農業科，工業科，商業科，水産科への進学希望推移

中学生の農業科，工業科，商業科，水産科への進学希望率は，ここ9年間変動があまり見られない。特に，徳島県農工商教育活性化方針の推進期間である平成27年度から令和元年度の間，若干の増減はあるものの，ほぼ横ばいで推移している。これを増やしていくには，小・中学生やその保護者，中学校教員に対する農工商教育への理解を促す取組などをさらに進める必要がある。



## 3 進路状況

平成30年度については，大学等への進学率が，4学科すべてにおいて，平成26年度よりも増加している。

こうした変化の要因として2つ考えられる。1つ目は，職業に必要とされる知識・技術が高度化する中，高校で身に付けた知識，技術・技能をさらに高め，かつ，より高度な資格取得を目指すため，高等教育機関への進学を目指す生徒が多くなっており，それを支援してきた結果といえる。2つ目は，専門高校の生徒を対象とした入学者選抜枠の設置といった進学機会の拡大が少しずつ図られてきたことが要因であろう。

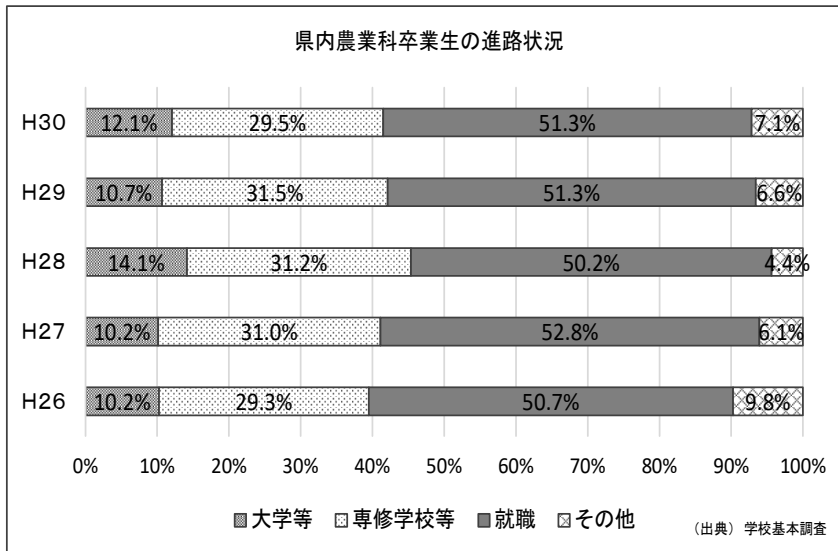
今後，令和2年4月から開始される国の高等教育の修学支援新制度により，進学割合がさらに増加することが予想される。こうしたことから，農工商教育においては，高校教育で完結するのではなく，高等教育への接続を意識した教育をより一層進めていく必要がある。

平成30年度卒業生の就職者状況

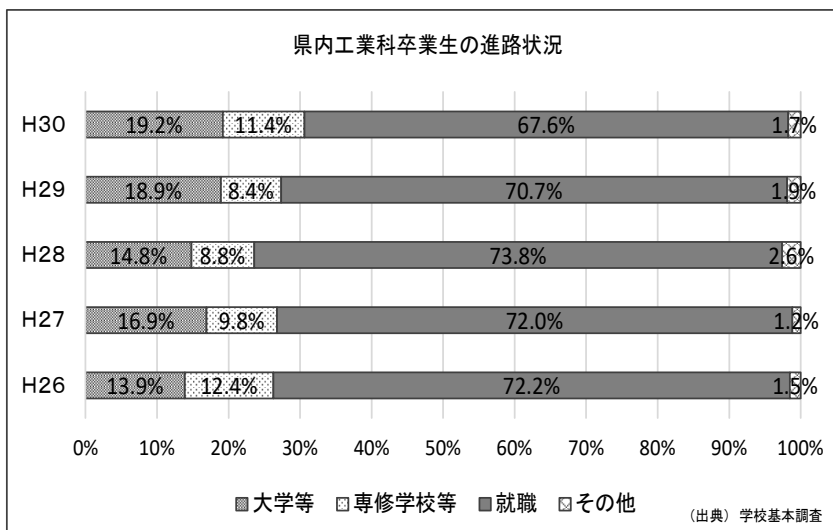
(単位：名)

	農業科	工業科	商業科	水産科
県内就職者数	91	226	208	6
県外就職者数	24	124	59	3
計	115	350	267	9
県内就職者数の割合	79.1%	64.6%	77.9%	66.7%

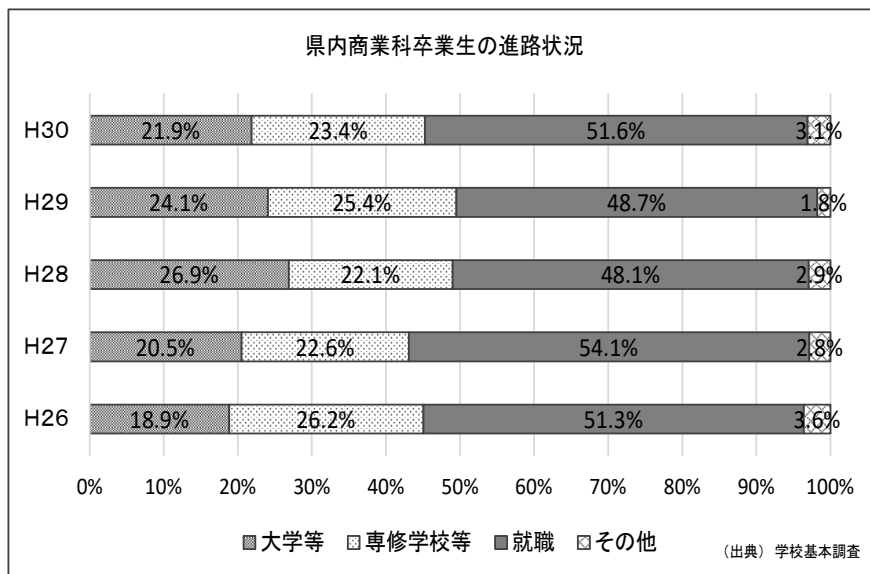
農業科は、例年5割を超える生徒が就職し、平成30年度においては、そのうち79.1%が県内就職である。また、大学等への進学率が増加傾向にある。



工業科は、例年約7割の生徒が就職し、平成30年度においては、そのうち64.6%が県内就職である。また、大学等への進学率が増加傾向にある。



商業科は、例年約 5 割の生徒が就職し、平成 30 年度においては、そのうち 77.9%が県内就職である。



水産科は、大学等と専修学校等への進学率が増加傾向にある。平成 30 年度においては、就職者のうち 66.7%が県内就職である。他の学科に比べて、年による変動が大きいのは水産科の卒業生数が少ないことが影響していると考えられる。

